

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

熱硬化性樹脂プーリー

明石プラスチック工業株式会社

金属より軽量かつ静かな歯車を 難加工樹脂で唯一製品化 オンリーワンを打ち出す改革に着手

プラスチックには、射出成形等の加工法で作られ、熱すると柔らかくなり冷やすと固まる「熱可塑性樹脂」と、圧縮成形等の加工法で作られ、熱で固まり再び熱しても溶けない「熱硬化性樹脂」の2種類があります。

同社は、これらを両方とも製造し、かつ両方の金型を手掛ける数少ないメーカーの一つです。特に熱硬化性樹脂は、熱可塑性樹脂に比べ市場が10分の1以下と小さく工程も複雑であるため、扱うメーカーは減少しつつあります。その中で同社は、国内で先駆けて、直径10cm以上の熱硬化性樹脂によるプーリーの製品化に成功しています。

プーリーとは、ベルトの動力を伝えるために使われる歯車のこと。同社では1994年から熱硬化性樹脂によるプーリー開発に注力し、実証試験を重ね、2001年に射出成形機の駆動部品として採用されました。金属製に比べ軽量かつ静音で、ベルトの摩耗が少なくコストも抑えられるメリットがあり、現在はロボットア

ムなどにも採用されています。

2年前に代表取締役社長に就任した生水口高志しょうずくちさんは10年ビジョンを掲げ、売り上げ・利益目標を定めるとともに、熱硬化性樹脂プーリーを戦略商品に位置付け、営業に注力する方針を打ち出しました。「せつかくあるオンリーワン商品を大事にし、マーケティングをした上で市場開拓を進めています」と生水口社長。すでに大手電機メーカー、空調メーカーなどから引き合いがあり、「今後は第三者機関による耐久性試験評価なども受け、付加価値を高めていきたい」と意欲を見せます。

同時にブランディングを強化し、働き方改革も推進。高卒採用に着手し、営業担当社員を増強する一方、製造、品質管理部門で女性社員の採用も積極的に行っています。「地域になくてはならない会社になる」「兵庫県を代表するものづくりメーカーになる」という強い決意の下、さらなる事業価値の向上を目指しています。



熱硬化性樹脂プーリー



熱可塑性樹脂および熱硬化性樹脂の成形品

◎明石プラスチック工業株式会社の
熱硬化性樹脂プーリー

明石プラスチック工業株式会社 / 所在地: 明石市魚住町金ヶ崎1182-1 / 代表取締役社長: 生水口高志
事業内容: プラスチック成型加工および金型製作
TEL 078-936-1601 / URL <https://akapla.co.jp/>

編集後記

「元気企業訪問」で取材した小寺製作所は、中小規模企業がひしめくワイヤーハーネス業界でいち早くシステム化、IT化に取り組み、他社と一線を画してきました。2020年からの新たな挑戦がこれからの飛躍にどう結び付くのか、将来が楽しみです。

JUMP

2020年2月号 令和2年1月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>